

一、次の(1)～(6)の問いに答えなさい。 【H18】
(1) 次の①～⑥の文の——線部について、漢字は読みがなをそれぞれ書き、カタカナはそれぞれ適切な漢字に直して書け。

- ①文章の要旨をまとめる。
- ②機械を制御する
- ③説明を補う。
- ④自分の行動にセキニンをもつ。
- ⑤生活をカイゼンする。
- ⑥日光をアびる。

⑤	③	①
⑥	④	②

(2) 次の文の主語を、一文節でそのまま抜き出して書け。

・将来に対する私の考えは少しずつ変化し始めていた。

[]

(3) 次の文の——線部の「で」と、言葉のきまりや意味のうえで同じ「で」を含む文を、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

・案内された部屋は静かで広がった。

ア、遠足は雨で中止された。

イ、用紙はボールペンで記入する。

ウ、あの人は親切で優しい人だ。

エ、映画は三時で終わると聞いた。

[]

(4) 「優劣」と同じ組み立ての熟語を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア、人造 イ、傾斜 ウ、応答 エ、増減

[]

(5) 次の行書で書かれた漢字を楷書で書いたときの総画数を数字で書け。

雲

[]

(6) 次の会話文は、先生と生徒との教室での会話の一部である。会話文中の [] に当てはまる最も適切なものを、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

先生「家庭訪問に都合のよい日をお母さんに聞いてくれませんか。」

生徒「はい。 [] 」

先生「わかりました。では、火曜日にしましょう。」

ア、火曜日に来てくださいと母がおっしゃいました。

イ、火曜日においでくださいと母が申しました。

ウ、火曜日にかがってくださいと母が言いました。

エ、火曜日に訪問してくださいと母がお言いになりました。

[]

一、次の(1)～(7)の問いに答えなさい。 【H19】
(1) 次の①～⑦の文の——線部について、漢字は読みがなをそれぞれ書き、カタカナはそれぞれ適切な漢字に直して書け。

- ①賛成の人は挙手をお願いします。
- ②家庭的な雰囲気のもてなしを受けた。
- ③娘は健やかに成長した。
- ④五年後の物価をスイソクする。
- ⑤彼を生徒会長のコウホにあげた。
- ⑥雨がフって、庭土は湿っている。

⑤	③	①
⑥	④	②

(2) 次の文の——線部の「答え」の活用の種類を、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

子どもたちは、私の質問に口々に答えてくれた。

[]

ア、五段活用 イ、下一段活用
ウ、カ行変格活用 エ、上一段活用

[]

(3) 漢字「率」を楷書で書くとき、次に示した白い部分は何画目になるか、数字で書け。

率

[]

(4) 「すばらしいものや才能に、驚き感心すること」という意味を持つ慣用句を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア、目に余る イ、顔が広い
ウ、鼻をあかす エ、舌を巻く

[]

(5) 次の文の——線部の「もし」はどの言葉を修飾しているか。その言葉を文中から一文節でそのまま抜き出して書け。

もしあの時彼がいなかったら町はどうなっていただろう。

[]

(6) 「均等」と同じ組み立ての熟語を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア、温暖 イ、出没 ウ、浅瀬 エ、加熱

[]

(7) 次の文章の [] に当てはまる言葉として適切なものを、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

良い文章を書くための方法として、私心がけていることがいくつもある。その一つは、できるだけ簡潔に書くことである。 []、難しい言葉をつかって格好をつけようとすればするほど、伝えたいことがわかりにくくなるからだ。

ア、だから イ、しかも
ウ、なぜなら エ、けれども

[]

一、次の(1)～(6)の問いに答えなさい。 【H18】
(1) 次の①～⑥の文の——線部について、漢字は読みがなをそれぞれ書き、カタカナはそれぞれ適切な漢字に直して書け。

- ① 文章の要旨をまとめる。 ② 機械を制御する
- ③ 説明を補う。 ④ 自分の行動にセキニンをもつ。
- ⑤ 生活をカイゼンする。 ⑥ 日光をアびる。

①	ようし	②	せいぎよ
③	おぎな	④	責任
⑤	改善	⑥	浴

(2) 次の文の主語を、一文節でそのまま抜き出して書け。

・将来に対する私の考えは少しずつ変化し始めていた。

考えは

(3) 次の文の——線部の「で」と、言葉のきまりや意味のうえで同じ「で」を含む文を、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

・案内された部屋は静かで広かった。 **並立**

- ア、遠足は雨で中止された。 (原因)
- イ、用紙はボールペンで記入する。 (手段)
- ウ、あの人は親切で優しい人だ。 (並立)
- エ、映画は三時で終わると聞いた。 (時)

上下が対の関係

(4) 「優劣」と同じ組み立ての熟語を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

主述の関係

- ア、人造 イ、傾斜 ウ、応答 エ、増減
- イ、顔が広い
- イ、顔が広い

(5) 次の行書で書かれた漢字を楷書で書いたときの総画数を数字で書け。

雲

12

(6) 次の会話文は、先生と生徒との教室での会話の一部である。会話文中の□に当てはまる最も適切なものを、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

先生 「家庭訪問に都合のよい日をお母さんに聞いてくれましたか。」
生徒 「はい。□」
先生 「わかりました。では、火曜日にしましょう。」

- ア、火曜日に来てくださいと母がおっしゃいました。
- イ、火曜日においでくださいと母が申しました。
- ウ、火曜日にかがってくださいと母が言いました。
- エ、火曜日に訪問してくださいと母がお言いになりました。

※来るのは先生なので、「来る」は尊敬語の「おいでになる」言ったのは母なので「言う」は謙譲語の「申す」となる

イ

一、次の(1)～(7)の問いに答えなさい。 【H19】
(1) 次の①～⑦の文の——線部について、漢字は読みがなをそれぞれ書き、カタカナはそれぞれ適切な漢字に直して書け。

- ① 賛成の人は挙手をお願いします。
- ② 家庭的な雰囲気のもてなしを受けた。
- ③ 娘は健やかに成長した。
- ④ 五年後の物価をスイソクする。
- ⑤ 彼を生徒会長のコウホにあげた。
- ⑥ 雨がフって、庭土は湿っている。

①	きよしゆ	②	ふんいき
③	すこ	④	推測
⑤	候補	⑥	降

(2) 次の文の——線部の「答え」の活用の種類を、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

子どもたちは、私の質問に口々に答えてくれた。

- ア、五段活用 イ、下一段活用
- ウ、カ行変格活用 エ、上一段活用

イ

※「答える」に「ない」をつけると「答えない」「ない」の前の音が「エ」なので下一段活用となる。

(3) 漢字「率」を楷書で書くとき、次に示した白い部分は何画面になるか、数字で書け。

率

5

(4) 「すばらしいものや才能に、驚き感心すること」という意味を持つ慣用句を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア、目に余る イ、顔が広い
- ウ、鼻をあかす エ、舌を巻く
- ウ、鼻をあかす
- ウ、鼻をあかす

エ

出し抜いてあつと言わせる

(5) 次の文の——線部の「もし」はどの言葉を修飾しているか。その言葉を文中から一文節でそのまま抜き出して書け。

もしあの時彼がいなかったら町はどうなっていただろう。

いなかったら

(6) 「均等」と同じ組み立ての熟語を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア、温暖 イ、出沒 ウ、浅瀬 エ、加熱
- イ、顔が広い
- イ、顔が広い

ア

(7) 次の文章の□に当てはまる言葉として適切なものを、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

良い文章を書くための方法として、私心がけていることがいくつかある。その一つは、できるだけ簡潔に書くことである。□、難しい言葉をつかって格好をつけようとすればするほど、伝えたいことがわかりにくくなるからだ。

- ア、だから イ、しかも
- ウ、なぜなら エ、けれども

ウ